



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩
郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

新年度

園長 宮竹 恒

4月1日、桜の花が美しい日に4名の新入職員を迎え、新年度が始まりました。

新入職員も増えましたが、子どもたちにも新しい仲間が増えました。先輩が優しく接している姿を見るとほほえましくなります。

今年度、学園の大きなテーマは「協力」であると考えています。

始業式、中学校入学式（分級）に於いて、子どもたちにも話しをしました。一人一人が目標を持って努力すること、それぞれ個性はあっても「協力」し、一緒に喜び合えるような一年に出来たら良いことを伝えました。

コロナ禍において、人と人との距離が離れることは、人間関係の希薄さと孤立を生むように思います。SNS やインターネット上の「つながり」はあるのかもしれませんが、人の温もりを伴った「つながり」が、本当は求められているのではないのでしょうか。

今という時代に生きているからこそ、子どもたちには「協力」することを学ぶ機会が必要であると考えています。

「協力」するには、自分の気持ちや考えを伝え、相手の気持ちや考えを理解する必要があります。子どもだけでなく、職員同士も協力が必要ですし、子どもより大人の方が「協力」するには努力が必要かもしれません。

子ども同士の協力、職員間の協力、子ども

と職員の協力があって、一人では味わうことが出来ない喜びがあると思います。

もちろん、失敗することもあります。仲間の失敗を次の成功と一緒に繋ぐことが出来る学園でありたいです。

さて、4月25日 和太鼓集団「満天」さんのご指導で、今年度、最初の太鼓練習を行いました。

これまで、多くの子どもたちが、太鼓を通して、「協力」することや、「人に喜びを与える」経験をさせて頂いてきました。

昨年度は、子どもたちが楽しみにしていた、太鼓慰問や発表の機会がなかったことは大変残念でした。

若竹太鼓の中心を担っていた子どもが多くが退園し、初めて練習に参加する子どもも多く、新入職員も加わり、新たな若竹太鼓の歴史がスタートしたことを感じました

子どもたちと職員「協力」の一つの成果として、今年度、太鼓披露が出来ればと願っています。

—了—



ようこそ!若竹学園へ



4月2日、新人職員歓迎遠足で子どもたちと峰山公園と白峯寺に行ってきました。

峰山公園では班ごとに分かれてアスレチックに挑戦したり、職員も一緒になって思いきり遊具で遊んだりしました。



ひとしきり遊んだ後、少し山を下って大きな芝生広場で色々な球技を楽しむ子どもたちもいれば、アリジゴクで走って滑って盛り上がる子どもたちもいました。

峰山公園を出て、白峯寺につくとみんなが待っていたお弁当の時間です。桜の木の下や、



木のベンチに座って食べました。

天気も良く、のんびりとした時間を過ごすことができました。新入職員も子どもたちと色々な話ができ、ほんの少し、子どもたちとの距離も近づいた気がします。



はなっこりーの収穫を子どもたちと一緒にし、夕食のすまし汁に変身しました。

子どもたちから食べた感想を聞くと、「美味しかった!」「また食べたい」「次何が収穫できるやろ、楽しみ」と言う声が聞こえてきました。私たちも楽しみになりました。



また、じゃがいもの植え付けもしました。



子どもたちが手伝ってくれ、あっという間に植える事が出来ました。収穫できる日が今から待ち遠しいです。



3月29日、学園で飼っていた、柴犬のライが旅経ちました。とても暖かい春の日差しの昼過ぎ、眠るように横たわっているのを、お世話する職員が発見しました。

桜の見える場所、相棒のマロンがいる近くに埋めてあげました。職員が穴を掘り、子どもたちと職員でたくさんのお花を、ライの周りに置いてあげました。タオルでくるんでやり、土をかけて埋めていく中、いつも元気一杯な子どもたちも、何もいわずただただ見守っていました。

動物は自分で命を絶つことができません。どんなに辛くても、苦しくても最後まで頑張ります。ライもおじいちゃんになって、フラフラ歩きになっても最後まで生き抜きました。みんなも命を大切にしたいことが伝えられました。

ライありがとう。天国から見守ってください。

青峰・若竹学級だよ！ 4月

着任式・始業式

令和3年度が始まり、新しい青峰学級・若竹学級がスタートしました。昨年度末に転任された4人の先生に変わり、新たに青峰学級



に森木先生、若竹学級に岡坂先生、支援員として金崎先生が着任されました。また、昨年度に引き続き、岡本先生と尾野先生が青峰学級、福田先生



が若竹学級を担当します。着任式に引き続き、1学期の始業式が行われました。下笠居小学校の久保田校長先生から目標をもって生活し、人間関係を円滑にするためにしっかりと挨拶をして欲しいと式辞がありました。きちんとした態度で式に臨め、素晴らしいスタートを切ることができました。

令和3年度入学式

4月8日に、青峰学級の入学式が挙行されました。今年度の新入生は3人。全員大きな声で呼名に返事をし、



下笠居中学校の高町校長先生から入学の許可を頂きました。式辞では「命」「時間」「夢」の3つのことを大切にして、実りある中学校生活を過ごしてくださいと新入生に述べられました。昨年に引き続き、在校生や来賓のいない入学式となりましたが、若竹学園の協力で式が挙行



できました。新入生も中学生としての意識が高まったようです。

授業始まる

在校生は7日、新入生は9日から授業が始まりました。今年度は4月1日転校してきた人が多かったため、中学生は1・2年生の復習からスタートし



ています。





増田士希也
児童指導員

子ども達と全力で向き合います！よろしくお祈りします！



小田祐大
セラピスト

運動が好きなので、サッカーやテニス、バドミントンを一緒にできたら嬉しいです。また、色んなこととお話できたら嬉しいです



高見望史
セラピスト

日頃のストレスや、嫌なこともあると思いますが、そんな時、子どもたちの話を気軽に聴いてあげられるようにしたいと思います。これから、よろしくお祈りします。



平迫那奈
セラピスト

宮竹園長の「いのちを大切に仕事」という言葉を胸に、子ども達と真摯に向き合っていきたいと思っています。

4月行事

1日	入里式
2日	歓迎会
6日	始業式
21日、22日	誕生日ケーキ作り
20日、26日、28日	買物外出

在籍人数

令和3年5月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	4	8
中学生	13	0	13
合計	17	4	21

ご寄付ありがとうございます。

香西直子 様 野菜沢山
 たまや 様 日用品沢山
 (株)デルタインターナショナル 様
 レーズン沢山

編集後記

4月を迎え、様々な環境の変化がある中で、新しい職員の方々が4名来てくださいました。子どもたちも一緒に遊んでもらったり、話をしてもらったりするのが嬉しい様子でした。

大室

第325発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒

